

学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

総合学科

笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに充め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	公民	現代社会	
3	保健体育	体育	
4	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
5	国語	国語表現	選択 1
6	外国語	英語理解	選択 1
7	家庭	子どもの発達と保育	選択 1
8	芸術	構成	選択 1
9	情報	情報実習	選択 1
10	保健体育	総合スポーツ	選択 1
11	理科	生物基礎	選択 2
12	農業	グリーンライフ	選択 2
13	農業	職業ライセンス	選択 2
14	家庭	食文化	選択 2
15	福祉	手話入門	選択 2
16	商業	簿記実習	選択 2

国際文化系列

17	国語	古典B	
18	国語	総合数学	
19	地理歴史	世界史B	選択 3
20	地理歴史	日本史B	選択 3
21	外国語	異文化理解	
22	外国語	総合英語	
23	外国語	課題研究	

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	国語・古典B	単位	2	履修区分	必履修
対象学年・類型・コース	3年総合学科国際文化系列				
使用教科書	『精選 古典B』三省堂				
目標とする生徒の将来像	古典を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育むことができる。さらに、将来にわたって古典に親しむ姿勢がある。				
評価の観点	①関心・態度・意欲：古典を読む力を高め、古典への理解や関心を深めようとしているか。 ②読む能力：古典に表された思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させているか。 ③知識・理解：伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けているか。				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・（方法）	自己評価
1 学期	第1回定期試験	○宫廷で清少納言はどう過ごしたのか 「木の花は」 「二月のつごもりごろに」 「大納言殿参り給ひて」	・筆者の美意識や機知を読み取り、豊かなものの見方ができる	②筆者の美意識や機知を読み取ることができたか 〈記述の確認〉	ABC評価
	第2回定期試験	○『三国志』の世界を知ろう 「三往乃見」 「進遇於赤壁」 ○日記から筆者的人物像を想像してみよう 蜻蛉日記「うつろひたる菊」	・登場人物の言動や心理などを的確に読み取ることができる ・作者のものの感じ方を通して、その心情を理解できる	②それぞれの場面に描かれた人間像を読み比べようとしている 〈記述の確認〉 ②作者のものの感じ方を整理し、その心情を比較している 〈記述の確認〉	ABC評価 相互評価
2 学期	第3回定期試験	和泉式部日記「夢よりもはかなき世の中を」 紫式部日記「和泉式部と清少納言」			
	第4回定期試験	○和歌の本質を考えよう 「古今和歌集仮名序」 ○主人公「杜子春」の人間性を理解しよう 「杜子春伝」	・筆者が主張する和歌の本質と効用を的確に読み取ることができる ・芥川龍之介「杜子春」と読み比べ、共通点や相違点などについて説明できる	①和歌に対する筆者の感じ方や考え方を理解しようとしている 〈行動の観察〉 ②共通点や相違点などについてまとめている 〈記述の確認〉	ABC評価 ABC評価
3 学期	第5回定期試験	○江戸時代に源氏物語はどう評価されたか 「源氏物語玉の小櫛」 ○江戸時代の人情に触れてみよう 「大晦日は合はぬ算用」	・江戸時代の人々の生き方や、作者のまなざしについて考えることができる	②話の展開や登場人物の考え方を読み取っている 〈記述の確認〉	ABC評価
	履修にあたって	古語辞典や漢和辞典を使い、自分で現代語訳できる姿勢を身につけてほしい。また、授業のポイントを押さえたノート作りに取り組むこと。			

平成30年度 年間シラバス

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	地理歴史・世界史B	単位数	4	必履修	・必修	<input checked="" type="checkbox"/> 選択
学年・系列・コース	3年 普通科・総合学科					
使用教科書	世界史B(実教出版)	副教材	アカデミア世界史			
目標とする生徒の将来像	世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察し、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と意識を育てる。					
評価の観点	①授業への関心、意欲、態度および、世界の歴史から課題を見いだし、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現すること。(10%) ②諸資料の収集、有用な情報の選択、読み取り、図表などへのまとめ。(10%) ③世界の歴史について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。					
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力	評価の観点			
1 学期	第9章 近世ヨーロッパと大航海時代 1. ヨーロッパの海外進出 2. 第2次大交易時代と海域アジア 3. ルネサンスと宗教改革 4. 主権国家体制の成立 5. 激化する霸権競争 6. 近世ヨーロッパの社会と文化 第10章 アジア諸地域の帝国と第2次大交易時代 1. 中央ユーラシア世界と西アジア世界の帝国 2. 南アジア世界の帝国 3. 東南アジア諸国と第2次大交易時代 4. 東アジア世界の帝国 5. 14～18世紀の朝鮮半島と日本列島 第11章 現代西洋革命とバクス＝ブリタニカ 1. イギリスの産業革命 2. 南北アメリカの革命 3. フランス革命とナポレオン帝政	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパの海外進出によって、大西洋をはさんだ分離体制が確立したことを探る。 明を中心とする朝貢貿易が第2次大交易時代をもたらし、ポルトガルやオランダも交易に参入したことを理解する。 ルネサンスがもたらした芸術・思想・科学の変革と、宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。 主権国家体制の成立は、霸権競争の激化をもたらしたことを理解する。 17世紀に科学革命が進行し、18世紀には啓蒙思想が盛んになったことを理解する。 ティムール朝、サファヴィー朝、オスマン帝国、ムガル帝国の支配体制と、イスラーム文化の影響を理解する。 東南アジアの大陸部諸国の発展と第2次大交易時代における諸島部の展開を理解する。 明・清時代の支配体制・外交・経済・社会・文化を理解する。 明・清の動きと関連させて朝鮮と日本の動向を理解する。 イギリス産業革命によって、資本主義社会が確立したことを理解する。 アメリカ独立の歴史的意義とラテンアメリカへの影響を理解する。 フランス革命の推移とともにナポレオンのヨーロッパ支配がもたらした歴史的意味を理解する。 		①②③		
2 学期	第11章 現代西洋革命とバクス＝ブリタニカ 1. イギリスの産業革命 2. 南北アメリカの革命 3. フランス革命とナポレオン帝政 第12章 近代ヨーロッパ・アメリカの帝国形成 1. ウィーン体制と1848年の革命 2. 19世紀後半のヨーロッパとアメリカ 3. 19世紀のヨーロッパ・アメリカの社会と文化 第13章 地球をおおう帝国主義と世界諸地域の抵抗 1. ヨーロッパの帝国主義 2. アメリカの帝国主義 3. 西アジアの改革運動 4. アフリカの分割と抵抗 5. インドの植民地化と民族運動 6. 東南アジアの植民地化と民族運動 7. 中華帝国の崩壊と中華民国の創立 8. 19～20世紀初頭の朝鮮半島と日本列島	<ul style="list-style-type: none"> イギリス産業革命によって、資本主義社会が確立したことを理解させる。 アメリカ独立の歴史的意義とラテンアメリカへの影響を理解させる。 フランス革命の推移とともにナポレオンのヨーロッパ支配がもたらした歴史的意味を理解させる。 ウィーン体制の確立から1848年革命に至る過程を理解させる。 工業化が進展したイギリスとフランスに対し、遅れて工業化を進めたイタリア・ドイツ・ロシア・アメリカのそれぞれの在り方を理解させる。 19世紀の欧米で生まれた新しい文化が社会生活を一変させたことを理解させる。 欧米の帝国主義の在り様から世界の一体化がはかられた構造を理解させる。 列強の帝国主義的な植民地獲得競争に対して、諸地域の民族がどのような抵抗を示したのかを理解させる。 列強の圧力の中で、朝鮮と日本の対応について理解させる。 		①②③		
3 学期	第14章 二つの世界大戦 1. 第一次世界大戦、2. ヴェルサイユ体制と国際協調、3. アジアのナショナリズムの台頭、4. 世界恐慌と法西スム、5. 満洲事変と日中戦争、6. 第二次世界大戦 第15章 冷戦から多極的国際社会へ 1. 冷戦時代の国際関係、2. 戦後の南北アメリカ、3. 戦後のソ連・ロシアと東ヨーロッパ、4. 戦後の西ヨーロッパ、5. 戦後のアフリカ、6. 戦後の西アジア、7. 戦後の南アジア、8. 戦後の東南アジア、9. 戦後の東アジア、10. 20世紀の文化 第16章 グローバリゼーションと地球環境の危機 1. グローバリゼーションの光と影、2. 「9.11」とアメリカ、3. 国際協調をめざして、4. ゆたかで安全な地球をめざして	<ul style="list-style-type: none"> 総力戦としての第一次世界大戦と戦後、世界の中心がアメリカに移ったことを理解する。 西アジア・インド・東南アジア・東アジアの戦間期での民族独立運動を理解する。 世界恐慌と法西スムの台頭と東アジアでの日中間の動向を理解する。 連合国勝利で終わった第二次世界大戦の意味を理解する。 西側、東側の各陣営の対立がなぜ発生したか、第二次世界大戦からの歴史的経緯を踏まえて理解する。 戦後の世界の各地域について、冷戦から多極化へ世界情勢が変化していく中で各地域の独立、建国の動きや経済成長のプロセスを理解する。 二度の世界大戦、冷戦と多極的国際社会を経験した20世紀の文化の特徴を思想、文学、芸術、科学などの面から理解する。 冷戦後、顕著となったグローバリゼーションがもたらす功罪両面の陰について考察できるようになる。 「テロとの戦い」を唱えるアメリカの行動と新たな国際紛争の関係を考察できるようになる。 1960年代以降の核軍縮の動きなどの国際協調の取り組みについて理解する。 		①②③		
検定資格(時期) 諸費用(予定)	なし					
履修にあたって	何時、どこで、誰が、何をし、どうなったかに心がけ理解するとともに、同じ時期に他の場所ではどのようにであったかも整理できるようにしよう。					

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	日本史B	単位	4	履修区分	選択
対象学年・類型・コース	3年普通科（選択者）総合学科国際文化系列（選択者）				
使用教科書	新選 日本史B（東京書籍）				
目標とする生徒の将来像	①我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。 ②各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。 ③歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う				
評価の観点	①定期試験 ②授業中の関心・意欲・態度・発問の観点等 ③単元ごとに実施する小テストなど				
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力	主たる評価の観点・方法	自己評価
1 学 期	第1回定期試験	第3章 2. 幕藩体制の成立 3. 近世社会の発達の町人文化	・関ヶ原の戦いで実権を握った徳川家康により江戸幕府が開かれ、経済的にも軍事的にも圧倒的な力で全国支配を実現したことを理解する ・百姓に対する厳しい規制を具体的に理解し、その厳しい規制の背景を幕藩体制の特質から考察する。また、身分制の仕組みを具体的に理解する	定期試験 ノート提出	
	第2回定期試験	4. 幕藩体制の動搖と庶民文化の発達 第4章 1. 開国から明治維新へ	・幕府財政悪化の中で実施された享保の改革の諸政策を、財政再建、都市政策の両面から考察する ・ペリー来航の背景を理解し、日米和親条約から不平等条約に至る動きを把握する	定期試験 ノート提出	
2 学 期	第3回定期試験	2. 立憲政治の形成と国民文化 3. 日本の近代化と東アジア	・自由民権運動が農民をも含めた大きな運動であったことや、民権運動を通じて民衆意識も次第に近代化していくことについて考察する ・日清戦争と、その後の三国干渉等が与えた影響について考察する	定期試験 ノート提出	
	第4回定期試験	4. デモクラシーと第一次世界大戦 5. 激動する世界と日本	・大正政変やシーメンス事件を通じて、民衆の行動によって政治が動く時代になったことを理解する ・第一次世界大戦の日本の東アジアにおける動きを理解し、これに対する各国の反応を考察する	定期試験 ノート提出	
3 学 期	第5回定期試験	第5章 現代の世界と日本 1. 占領と国内改革 2. 國際社会への復帰と高度経済成長	・太平洋戦争開戦に至る日米関係や、太平洋戦争の展開について理解する ・連合軍による日本占領の目的が非軍事化と民主化であったことを理解し、その目的に沿ってどのような政策が展開されたのか、また、諸政策がその後の日本社会にどのような影響をもたらしたのかを、考察する	定期試験 ノート提出	
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	特になし			
	履修にあたって	ただの暗記教科ではなく、「なぜ？」という歴史的な疑問を持って授業に臨むことが大切である。歴史が苦手な生徒でも、授業内での間に積極的に答えることで、苦手を克服することができる。			

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	異文化理解	単位	2	履修区分	系列必修			
対象学年・類型・コース	3年 総合学科国際系列							
使用教材	映画の英語（PCソフト）、教師作成プリント							
目標とする 生徒の将来像	ア. ネイティブによる発話を聞き、ディクテーションできる。 イ. ALTによる異文化の題材を理解することが出来る。 ウ. 出題された問題に的確に答えることが出来る。							
評価の観点	定期考査80%・観点別評価20%・提出物・授業に対する積極性・小テスト・標準考査							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力					
1 学 期	第1回 定期試験	映画内でよく使われる発話について	・ネイティブによる発話を性格に聞き取る。 ・どのような場面でどのような単語が使われるか考える。					
	第2回 定期試験	世界の学校について	・異文化の学校について知り、まとめる。 ・興味のある国の学校について深く調べる。					
	第3回 定期試験	家族で使われる発話について	・ネイティブによる発話を性格に聞き取る。 ・どのような場面でどのような単語が使われるか考える。					
	第4回 定期試験	世界の食事について	・異文化の食事について知り、まとめる。 ・興味のある国の学校について深く調べる。					
2 学 期	第3回 定期試験	恋愛に関する発話について	・ネイティブによる発話を性格に聞き取る。 ・どのような場面でどのような単語が使われるか考える。					
	第4回 定期試験	世界の気候について	・異文化の気候について知り、まとめる。 ・興味のある国の学校について深く調べる。					
	第4回 定期試験	言い争いで使われる発話について	・ネイティブによる発話を性格に聞き取る。 ・どのような場面でどのような単語が使われるか考える。					
	第4回 定期試験	世界の観光について	・異文化の観光について知り、まとめる。 ・興味のある国の学校について深く調べる。					
検定	英語検定（希望者：6月・10月・1月）							
履修にあたって	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、社会生活に活用できるようにする。 ・配付されたプリントをファイルにしっかりと管理する。 ・辞書等授業で使うものは必ず持ってくる。 ・指示された課題や宿題をしっかりと提出日までに行う。 ・小テストには計画的に学習し、取り組む。							

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	総合英語	単位	4	履修区分	系列必修			
対象学年・類型・コース	3年 総合学科国際系列							
使用教材	Change the World Basic, Listening Box 3, Mileage Reader, Vintage							
目標とする生徒の将来像	ア. 英文を読み、書かれている内容を理解し、その内容を簡潔にまとめることができる。 イ. 英語での対話や説明文などを聞いて、その概要をつかむことができる。 ウ. 出題された問題に的確に答えることが出来る。							
評価の観点	定期考査 80%・観点別評価 20%・提出物・授業に対する積極性・小テスト・標準考査							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力					
1学期	第1回定期試験	C. t. W	・総合問題集を的確に解答できる。					
		L. B. 3	・センター試験を意識したリスニングを行い、内容を理解する。					
		M. R	・5分程度で読み終える文章を速読し、解答する。					
		Vintage	・文法や頻出問題を把握し、小テストに合格する。					
		ALT	・季節の行事や出来事を英語で説明することが出来る。					
2学期	第2回定期試験	C. t. W	・総合問題集を的確に解答できる。					
		L. B. 3	・センター試験を意識したリスニングを行い、内容を理解する。					
		M. R	・5分程度で読み終える文章を速読し、解答する。					
		Vintage	・文法や頻出問題を把握し、小テストに合格する。					
		ALT	・季節の行事や出来事を英語で説明することが出来る。					
2学期	第3回定期試験	C. t. W	・総合問題集を的確に解答できる。					
		L. B. 3	・センター試験を意識したリスニングを行い、内容を理解する。					
		M. R	・5分程度で読み終える文章を速読し、解答する。					
		Vintage	・文法や頻出問題を把握し、小テストに合格する。					
		ALT	・季節の行事や出来事を英語で説明することが出来る。					
2学期	第4回定期試験	C. t. W	・総合問題集を的確に解答できる。					
		L. B. 3	・センター試験を意識したリスニングを行い、内容を理解する。					
		M. R	・5分程度で読み終える文章を速読し、解答する。					
		Vintage	・文法や頻出問題を把握し、小テストに合格する。					
		ALT	・季節の行事や出来事を英語で説明することが出来る。					
検定	英語検定（希望者：6月・10月・1月）							
履修にあたって	英語を用いて積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、社会生活に活用できるようにする。 ・配付されたプリントをファイルにしっかりと管理する。・辞書等授業で使うものは必ず持ってくる。 ・指示された課題や宿題をしっかりと提出日までに行う。・小テストには計画的に学習し、取り組む。							

教科年間シラバス

詳細は授業にて指示

教科・科目	課題研究	単位数	2	必履修	・必修・選択		
学年・系列・コース	3年 総合学科 国際系列						
使用教科書	なし	副教材	なし				
目標とする生徒の将来像	自らの進路にむけて、研究研修を行い、その成果発表を自ら行う。						
評価の観点	・興味関心のある事柄に対し、真剣に調査研究を行い、自らまとめ成果を発表する力を養う。						
学期	単元・教材	主たる目標・つけたい力	評価の観点				
1 学期	・自らの進路に関する研究発表 1 進路希望による調査研究 2 PPによる発表	・自己探求力、解決力、表現力	・出席状況(日頃の取り組み) ・発表内容 ・レポート内容				
2 学期	・興味関心のある分野の調査研究 1 テーマ設定 2 調査研究 3 PPによる発表	・自己探求力、解決力、表現力	・出席状況(日頃の取り組み) ・研究内容 ・PP作成、発表				
3 学期	4 報告書まとめ	・自己探求力、解決力、表現力	・報告書				
検定資格(時期)							
諸費用(予定)	特になし						
履修にあたって	特になし						